

製品名: SH3TC2 ウサギポリクローナル抗体

カタログ番号: APRab17849

研究使用のみ

概要

説明	ウサギポリクローナル抗体
宿主	うさぎ
応用	IHC, ICC/IF, ELISA
反応性	ヒト、ラット、マウス
標識	非共役
修飾	未修正
アイソタイプ	IgG
クローン性	ポリクローナル
形態	液体
濃度	1mg/ml
保存	アリコートし、-20°Cで保存してください（12ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。
輸送	氷袋
バッファー	50% グリセロール、0.5% 保護タンパク質、0.02% 新タイプ防腐剤 N を含む PBS 液。
精製	アフィニティー精製

応用

希釈倍率 IHC 1:100-1:300, ICC/IF 1:50-1:200, ELISA 1:20000-1:40000

分子量

抗原情報

遺伝子名	SH3TC2
別名	SH3TC2; KIAA1985; PP12494; SH3 domain and tetratricopeptide repeat-containing protein 2
遺伝子 ID	79628.0
SwissProt ID	Q8TF17
免疫原	抗血清はヒト SH3TC2 由来の合成ペプチドに対して作製された。アミノ酸範囲: 390-430

背景

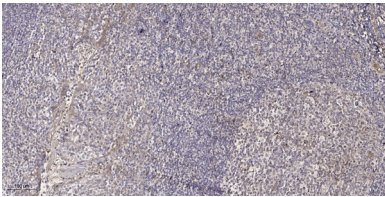
この遺伝子は、N 末端に 2 つの Src ホモロジー 3 (SH3) ドメインと 10 個のテトラトリコペプチドリピート (TPR) モチーフを持つタンパク質をコードし、小規模な遺伝子ファミリーのメンバーです。この遺伝子産物は、アダプター分子またはドッキング分子であ

ることが提案されています。この遺伝子の変異は、常染色体劣性遺伝性のシャルコー・マリー・トゥース病 4C型を引き起こします。シャルコー・マリー・トゥース病 4C型は、運動ニューロンと感覚ニューロンの脱髄を特徴とする小児期発症の神経変性疾患です。[RefSeq 提供、2008年7月], 疾患: SH3TC2 の欠陥がシャルコー・マリー・トゥース病 4C型 (CMT4C) の原因です [MIM:601596]。CMT4Cは、末梢神経系の最も一般的な遺伝性疾患であるシャルコー・マリー・トゥース病の劣性遺伝型です。シャルコー・マリー・トゥース病は、電気生理学的特性と組織病理学に基づき、原発性末梢脱髄性ニューロパチーと原発性末梢軸索性ニューロパチーの2つの主要なグループに分類されます。脱髄性 CMTニューロパチーは、神経伝導速度の著しい低下 (38 m/秒未満)、神経生検におけるタマネギ球状化を伴う分節性脱髄および再髄鞘化、緩徐に進行する遠位筋萎縮および筋力低下、深部腱反射の消失、および空洞足の特徴とします。慣例により、脱髄性シャルコー・マリー・トゥース病の常染色体劣性遺伝形式は CMT4と呼ばれます。CMT4Cは、小児期の発症、早期発症の側弯症、および明確なシュワン細胞病理を特徴とします。類似性: 1つの SH3ドメインを含みます。類似性: 8つの TPR リピートを含みます。組織特異性: 脳と脊髄で強く発現します。脊髄と坐骨神経で同等の発現を示す。横紋筋では弱い発現を示す。

研究分野

神経科学; 細胞型マーカー; ニューロンマーカー; 軸索マーカー

画像データ



パラフィン包埋ヒト扁桃腺の免疫組織化学分析。1、抗体を 1:200 に希釈した (4°Cで一晩)。2、抗原賦活化には Tris-EDTA、pH9.0 を使用した。3、二次抗体を 1:200 に希釈した (室温、30分)。